

a la carte.

2023.4

あらかると

435



彩度の高い「いなか」をソウゾウする
合同会社MARBLING



彩度の高い「いなか」をソウゾウする 合同会社MARBLiNG

阿武隈山系北部の高原に開けた豊かな自然に恵まれた飯館村。村の総面積の約75%を山林で占めた地形は比較的なだらかで年平均気温は約10℃。高原地帯独特の冷涼な気候のため、冷害と飢饉が繰り返されるなか、外部からの入植者を積極的に受け入れてきた歴史があります。

東日本大震災の影響もあり、過疎化がすすんでいるこの村で、わたしたちは環境づくりや地域創生を通して新しい「いなか」の価値観をつくりながら、飯館村の「今」の情報をアップデートし、村のイメージを更新し続けています。



飯館村の今

東日本大震災により村全体が計画的避難区域になったこともあり、いまだに「被災地」というイメージが根強くありますが、近年は飯館村に移り住む方が増えてきていて、空き家が不足するほどになっています。移住者はシニア層だけではなく、比較的若い世代の方も多く、元々住んでいる村民と移住者が共同して地域づくりに取り組む試みも始まってきています。

ずっとそうこ つながりを再生する、図図倉庫

分野や地域、世代の垣根を越えて多様な人が集まり、飯館村や世界が抱える環境課題とこれからの地域環境づくりにアプローチする秘密基地。村の中心地域に位置する旧コメリ飯館店を再利用してできた図図倉庫は、これからの村のあり方を実験・実践しながら考えていく場として作られました。

●アート×農業

アーティストとの協働で農作物が新しい作品に。



●もみ酢液

米づくりから出る「もみがら」も燻炭して断熱材や脱臭剤にして再利用。さらに燻炭の過程で煙が冷やされて発生する「もみ酢液」は植物の栄養剤に。家庭菜園や観葉植物に気軽に使いやすいスプレータイプの商品にし、売買と土づくりの循環をつくります。



●ワサビLabo

ワサビの水耕栽培を実験中。山の特殊な水環境を再現し循環させています。



●トレーラーCafé

太陽光発電の大容量バッテリーを積んで村のいろんな場所に移動も可能。



「図」という字には「工夫して努力する」「目的のために工夫する」といった意味合いがあります。時には地域のみんがワイワイと集い、またある時には専門家やアーティストたちとともに地域資源を使った作品やエネルギーを考える。様々な人の視点を持ち寄り、次の世代に自信をもって受け渡せるような、世界に誇れるような「ずっと」つづく地域環境づくりを目指したい。そんな思いを「ずっと」という読み方にも込めました。

他にも飯館村をもっと知ってもらいながら環境づくりに参加できるツアーやイベントなども開催しています。ぜひ気軽に足を運んでください。

合同会社MARBLiNG

〒960-1802 福島県相馬郡飯館村
深谷二本木前5-1 図図倉庫内

公式ホームページ



Instagram

@zuttosoko



Facebook

Marbling



LINE

@zuttosoko

